

2019 年度第 1 回 一般社団法人日本箱庭療法学会研修会のお知らせ

主催：一般社団法人日本箱庭療法学会

日 時： 2019 年 7 月 14 日（日）12：00～17：30（受付 11：30～）

会 場： 学習院大学 中央教育棟（東京都豊島区目白 1-5-1）

ご挨拶

日頃、さまざまな心理臨床の現場に携わっておられる皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

2019 年度第 1 回の全国研修会は、学習院大学で開催させていただきます。全体講演では、ユング派分析家の田熊友紀子氏に、「箱庭と主体の生成に関わる現代のトリックスター」という演題で、お話しして頂きます。箱庭のプロセスにトリックスターがどのように関わってくるのか、事例を通してお話し頂けるようで、とても楽しみです。トリックスターもまた時代に伴って変遷するのなら、「現代のトリックスター」がどのような現れ方をするのか、興味深いところです。皆さまが日頃取り組んでおられる箱庭療法・心理療法のプロセスの中で、「トリックスターとは何か」を再考する貴重な機会を頂けることと思います。

今回も、6 つの分科会と、震災対策用分科会を 1 つ設けております。6 つの分科会のうち 3 つの分科会で事例を募集しております。全体会を担当して頂く田熊友紀子氏も事例を募集しておられますので、どうぞ、奮ってご応募下さい。また、震災対策用分科会では、昨年度と同様に、福島県臨床心理士会会長の安部郁子先生に福島の 8 年目の現状についてお話し頂きます。遅発性 PTSD の問題などにもふれていただけるようです。福島の 8 年とこれからをじっくりと考える分科会になることを願うばかりです。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2019 年 4 月吉日

一般社団法人日本箱庭療法学会 研修委員長 川戸 圓

<開催要領>

1. 定 員：200 名
2. 参加資格：以下の条件のいずれかを満たす方とします。
 - ①一般社団法人日本箱庭療法学会会員
 - ②箱庭療法を導入・または導入を検討中の児童相談所・児童養護施設等の心理職に従事されている方
 - ③箱庭療法を導入・または導入を検討中の学校等教育機関の保健・養護領域に従事されている方
 - ④心理臨床を専攻する大学院生
3. 参加費：学会員：4,000 円 非会員：7,000 円 大学院生（非会員）：5,000 円
4. 研修ポイント：本研修会への参加は、臨床心理士教育・研修規定別項第 2 条（3）により、一般参加者は 2 ポイント、事例呈示者は 4 ポイント取得となります。

5. 研修内容

(1) 全体会：12：00～14：00

テーマ：「箱庭と主体の生成に関わる現代のトリックスター」

講師：田熊 友紀子氏（代官山心理・分析オフィス）

概要：

従来の箱庭療法では、治療的転回点に「トリックスター」のイメージが出現し、心理療法のプロセスの起承転結の「転」に関わるものとして注目されていたが、近年の心理療法においては、「トリックスター」という言葉をほとんど聞かなくなってしまった。しかし現代のトリックスターは従来とは異なり、主体の発生や主体の転回点に関わっているのではないだろうか？外側の異界からやってきて秩序の破壊と再生に関わってきたトリックスターは、今、主体なき混沌の内側から主体の立ち上がりに関わっていると思われる。起承転結の「起」に関わるトリックスターの働きを事例から考える。

(2) 分科会：14：30～17：30

以下の7グループに分かれ、分科会を行います。

事例呈示を募集している分科会は、概要の最後に<事例募集>の表記のある分科会です。事例呈示希望者は、「6. 参加・発表申込について」をご参照の上、お申し込みください。

● 第1分科会 岩宮 恵子（島根大学）

「不安障害とうつ状態の裏側にあるもの—傷と向かい合うこと、感情を取り戻すこと—」

理不尽な暴力が存在するなかで育った人のなかには、その事実を誰にも口にしないままに表面的にはギリギリの適応を守りながら成人する人も多い。しかし、その人のそれまでの外的な適応状況から考えると、それくらいは乗り越えられるだろうと思われるようなつまづきをきっかけに、ギリギリで保っていた平衡状態が崩れて、一挙に症状が表に出てくることがある。それは今までの適応を失うという苦悩を生むが、一方で幼い頃からの傷に向かい合い、そこからの再生を目指そうとするムーヴメントが生まれるチャンスにもなる。今回の分科会では、あるきっかけから、強い不安を訴えるようになり、うつ状態も重なり、それまでの適応が叶わなくなった女性の事例から、傷と向かい合うこと、感情を取り戻すことなどについて、夢の報告や描画などから検討していきたい。（事例提供者：田中千富美氏）

● 第2分科会 河合 俊雄（京都大学こころの未来研究センター）

「スクイグル法と現代の心理療法」

ウィニコットによって提唱されたスクイグルは、クライアントだけが行う描画とは異なって、セラピストも参加する興味深い方法である。近年の主体性の弱いクライアントの増加に伴って、子どもの場合にも大人の場合にも、スクイグルは非常に有効なことが多い。スクイグルの一般的な特徴、現代的な意味を解説した後で、複数事例を検討したい。<事例募集>

● 第3分科会 川崎 克哲（学習院大学）

「イニシャルドリームとその展開」

イニシャルドリームとは、通常、心理療法がはじまるとの初期にみられる夢で、そこに今後展開されていく治療プロセス全体を反映しているイメージが現れている夢を意味する。このようなイニシャルドリームは、クライアントがもつ課題や病理、その治療可能性や治療的展開の見立てを提供してくれるすぐれた素材であり、なにより、困難な事例の場合においてしばしば暗闇のなかで振り回されて不安にならざるをえない治療者を支えてくれるものとなる。本分科会では、夢が報告された具体的な事例を丁寧に検討していくことで、イニシャルドリームがどのような意味をもっているか、また、それがその後の治療のなかでどのような夢シリーズの展開となり、治療的な効果をもたらすのかなどを検討していきたい。（事例提供者：笠原千恵子氏）

● 第4分科会 田熊 友紀子（代官山心理・分析オフィス）

「箱庭やイメージに表現される『死の問い』」

子どもでもおとなでも、心理療法の現場で出会うクライアントは、しばしば「死とは何か」「死んだらどうなるのか」ということに取り組むことがある。それは「生きること」を実感する上で、「死」は生を裏打ちし下支えするものとして無意識の側から、わたしたちの生を刺激し続けるものだからでもある

う。言葉のレベルで割り切って扱いきれない「死の問い」が、絵や箱庭やファンタジーの中で表現される様相や、その展開が心の発展にどのような意味を持つのかについて、事例を通じて検討したい。「死」がテーマと思われる箱庭やイメージが表現される事例を募集します。<事例募集>

● **第5分科会 田中 康裕（京都大学大学院教育学研究科）**

「自閉症スペクトラムの箱庭療法—内包性の実現と体験」

自閉症スペクトラム（ASD: Autism Spectrum Disorder）の心理療法については、「サイコロジカル・マインドの欠如」といった表現に代表されるように、従来の心理療法が当然のこととしていた事柄を前提としえないことから、その困難性がこれまで論じられてきた。そのような困難性は否定しようもないが、それでも、現代の意識のカリカチュアとして ASD を想定する限り、われわれ心理療法家は、そこにどのような可能性があるのかを考えざるをえない。この分科会では、東洋英和女学院大学の前川美行先生に ASD を疑われる成人の一事例を発表していただき、「内包性」という観点から、箱庭療法がいかにか奏功するのか、その特徴はいかなるもののかについて考えてみたい。（事例提供者：前川美行氏）

● **第6分科会 吉川 眞理（学習院大学）**

「箱庭における垂直表現から学ぶ」

一連の箱庭表現の流れにおいて、何かが屹立する作品が出現することがあります。たとえば大木、塔、あるいは砂を高く積み上げていく表現など、そのヴァリエーションはさまざまな形をとります。箱庭の中にそびえ立つ表象は、心の中のどのような動きを反映しているのでしょうか？そのとき作成者の心に何が起こっているのでしょうか？夢に現れる屹立するもののイメージをもとに仮説をたてながら、事例として提供いただく箱庭系列をもとに、皆さんと一緒にじっくり考えてみたいと思います。<事例募集>

● **震災対策用分科会 1（S1） 岸 良範（福島学院大学）、渡部 純夫（東北福祉大学）**

「福島の8年目の課題」

東日本大震災から8年の年月が流れ、復興の象徴として、東京オリンピックが開催予定です。何もかもが順調に推移しているような印象を与えています。しかし、福島の現状は違います。「立派な被災者」としての期待に応えなければならないというスキーマを演じている様子が見て取れます。また、遅発性の PTSD も垣間見られます。産業の安定化もなかなかはかられない状況にあります。今回の分科会では、特に以上のような福島の8年目の様子を総合的に、丁寧に拾い上げながら、参加者の皆さんとご討議させていただきたいと思います。どうぞたくさんのご参加をお待ち申し上げます。（報告者：安部郁子氏）

各分科会会場につきましては、当日受付にて配布のプログラムにてお知らせいたします。

6. 参加・発表申し込みについて

WEBによる参加・事例発表申込方法

【参加申込】

当会ホームページ（<http://www.sandplay.jp/training.html>）

および右記 QR コードの申込フォームよりお申し込みください。

申込が完了しましたら、自動返信メールが送信されます（※パソコン、スマートフォン対応）。自動返信メールが届かない場合は、

一般社団法人日本箱庭療法学会事務局（office@sandplay.jp）までお問い合わせください。

【事例発表申込】

上記と同様の申込フォームよりお申し込みいただけます。事例発表を「希望する」にチェックし、申込フォーム上にある<事例概要記入シート>にご記入の上、メール添付でoffice@sandplay.jpまでお送りください。参加申込締切後、事例発表の可否について、事務局よりご連絡いたします。

※<事例概要記入シート>は、当会ホームページからもダウンロードしていただけます。



FAXによる参加・事例発表申込方法

【参加申込】 ※メールアドレスをお持ちの方は、WEBからのお申し込みを推奨します。

同封の参加申込書所定欄に必要事項をご記入の上、一般社団法人日本箱庭療法学会事務局（06-6233-8529）

へ FAXにてお申し込みください。お申し込みを事務局で確認でき次第、受領 FAX を送信いたします。返信 FAX が届かない場合は、事務局までお問い合わせください。

【事例発表申込】

参加申込書裏面に必要事項をご記入の上、参加申込とあわせて FAX をお送りください。

※ 参加申込締切：2019年5月10日（金）【必着】

- ・お申し込みは、原則として先着順とさせていただきます。
- ・分科会コースの通知はおこなわず、お申し込みいただいた分科会で受付けさせていただきます。
- ・定員となった分科会より締め切らせていただきます。また、希望者多数の場合にはご参加いただけない場合もございますので、予めご了承ください。

7. 参加費振込みについて

自動返信メールもしくは、返信 FAX を受領後に、以下の口座へ参加費をお振込みください。

振込先： ゆうちょ銀行振替口座 00900-8-233788

加入者名： 一般社団法人日本箱庭療法学会研修委員会

※ 参加費振込締切：2019年5月24日（金）

- ・納入された参加費のご返金はできませんので、予めご了承ください。
- ・振替用紙の通信欄には、「2019年度第1回全国研修会参加費」とご記入ください。
- ・振込締切までに入金を確認した方には、5月24日以降、分科会番号・名前等の記載された名札・名札ケースをお送りいたします。当日は名札・名札ケースをご持参いただき、身に付けてご参加ください。
- ・振込締切以降に参加費を入金された場合は、研修会当日に受付で名札をお渡しいたします。
- ・名札ケースは研修会終了後、必ずご返却くださいますようお願いいたします。

8. 研修ポイントについて

全体会、分科会の両方に参加した方には、日本臨床心理士資格認定協会「臨床心理士教育・研修規定別項」第2条(3)「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」の通り、受講者には2ポイント、分科会での事例発表者には4ポイントが付与されます。名札が研修証明書の代わりになりますので、大切に保管してください。

9. 研修会に関するお問合せ先

一般社団法人日本箱庭療法学会事務局

住所：〒541-0047 大阪市中央区淡路町 4-3-6 新元社内

FAX：06-6233-8529

E-mail：office@sandplay.jp

10. 会場案内

＜電車でお越しの方＞

- ・JR山手線「目白」駅下車 徒歩30秒で西門、中央教育棟まで300メートル
- ・東京メトロ副都心線「雑司ヶ谷」駅下車 徒歩7分で正門、中央教育棟まで200メートル
- ・都電荒川線「学習院下」、「鬼子母神前」駅も利用可

